

T DRAGON QUEST —もうひとつの DQ シリーズ—

1C 小林達也

■TDQ とは？

T DRAGON QUEST（タイニードラゴンクエスト）俗称 TDQ とは、X680x0 で動かすことのできる同人ゲームであり、TNB 製作所の田圃氏によって開発されました。言わずもがな DQ のパロディです。I と II が作られており、キャラクターやストーリーこそオリジナルですがシステム・音楽・モンスター・アイテムのほとんどは本家 DQ から流用しています。

しかし、TDQ の凄いところはその『オリジナル』で作られた部分の質が非常に高く、またそれが非常に DQ らしいところにあります。当時ネットでは凄い反響だったとか。DQ が好き、特に FC に思い入れのある方は、より一層楽しくプレイできると思います。

■T DRAGON QUEST I ～序章 勇者の目覚め～（1991 年）

TDQ 第一作目。FC を意識して作られていて、DQ I と同じ 128×128 のマップサイズながら、パーティプレイあり謎解きあり難解ダンジョンありと体感ボリュームは DQ III なみ。メタル系群生地や隠しアイテムなどのお約束もしっかり実装されています。

ただ、本家と違って敵の攻撃呪文のダメージがそのままだったり、某岩が 1 ターン目から容赦なくメガ〇テをぶっ放してきたり etc... とゲームバランスが崩壊気味なのが玉にキズ。戦闘でただ A ボタンだけ叩いていると、いつの間にか画面が真っ赤になるその光景は DQ II を彷彿とさせます。DQII より難しいかもしれません。個人的にはそこが面白いところだと思うのですが。

■T DRAGON QUEST II ～魔族の大地～（1992 年）

TDQ 第二作目。TDQ I の続編で、前作の 2 倍以上の仲間達・ゲームバランス・SFC を意識したグラフィック・隠し要素と、同人ゲームとは思えないほどの仕上がり。キングスライムもしっかり合体します。Disk 2 枚分もの長い冒険の物語。秘められたテーマ。副題の意味。ゲームを進めるにつれて明かされる真実に驚かされること請け合いです。

前作では割とおざなりだったストーリーですが、今作はしっかりとストーリーがあります。これは本家と一切接点がありません。当然 DQ らしくないと感じる人も多々いると思います。

でも、クリアしたあとプレイ内容を振り返ってみると、やっぱりこれは DQ だったと不思議と思える。そんな作品に仕上がっています。

□あとがき

製作中のミニゲームについて記事を書くのに不安を覚え、別の記事を書こうと思ったら只の宣伝になってしまいました……。別に田圃氏のまわしものとかじゃありませんよ（笑） そもそも X680x0 を見たことすらないという。

……え？ X680x0 知らんのにそのゲームの記事書くなだって？ 恐縮です。おっしゃる通り。

でも本当に面白い作品だと思うのでちょっと紹介したかったので書いてみました。

ん、あ？ みんな知ってる？ ……スルーしてください。